

■文京区新たな公共プロジェクト 成果検証フレームワーク（案）

生み出したい状況（ビジョン）	新たな公共の担い手が区と連携して地域課題を効果的に解決する	取り組むこと（ミッション）	地域課題の解決に取り組む民間・協働のプロジェクトが生まれ、持続的に課題解決に取り組んでいけるよう担い手育成と環境整備を行う
----------------	-------------------------------	---------------	---

評価対象	評価項目	区の基本姿勢	担い手の創出に向けて				取り組みのPDCAサイクルの機能
			ステージ1：新しい活動のきっかけや担い手の発掘となるアイデア創出の場を広げる (文京ミライ対話、社会起業入門講座)	ステージ2：新たな公共の担い手の事業構築を支援する (プロジェクト登録・支援、社会起業アクションラーニング講座)	ステージ3：区と担い手が課題解決の実践へ連携する (NPOとの協働、協働提案型事業)	事業構築スキームの適切な運営について	
区の運営	①協働のガバナンス 区は協働の取り組みを推進するための仕組みをつくり、運営してきたか	・区はNPOや事業者から提案や相談に対応できる組織を整えたか(組織横断的な体制、職員の意識改革のための研修)	・区職員がアイデア創出の企画、実施に積極的に参画し、ニーズ把握や解決づくりにつなげることができたか	・区の担い手創出支援本部は効果的に機能したか ・区の職員は事業構築に参画し、効果的な役割を果たせたか ・事業構築に必要な関係者を巻き込み、効果をあげたか	・区は透明性・公平性を確保した協働相手の選定を行ったか ・区による協働相手の信頼性の確認は適切か	・区は事業構築実施において透明性・公平性を担保し、説明責任を果たしたか ・事前に事業実施に関与する各主体との間で、責任とリスク分担を明確にした進め方ができたか	・スキーム全体のPDCAは効果的に行っているか ・創出された担い手と区との連携についてのPDCAは効果的に行っているか
区・事務局の施策	②地域課題解決プロジェクトの事業構築における中間支援機能 事務局（区・パートナー事業者）が事業構築のために下記の機能を提供したり、促す場づくりができたのか ・変化促進 ・プロセス支援 ・資源連結 ・問題解決提示	・区は協働相手となるNPOや事業者の考え方を理解するように努めたか（NPOとの意見交換の機会、共有価値の創出への取り組み） ・区はNPOや事業者の支援を行う基本的な体制を整えたか（相談窓口の整備、情報発信、活動支援の仕組みや拠点の整備）	・区から区民へのアイデア創出の場への参加の呼びかけは成功したか ・対話や講座を通して、新しいアイデア創出や事業の立ち上げを効果的に促すことができたか ・各主体とのつなぎ役を担える人材を発掘できたか	・区による事業構築支援への参加プロジェクトの募集・審査・選考は適切だったか（地域課題との整合性、実施意欲など） ・区、アドバイザー、パートナー事業者による事業構築支援の方法は効果的であったか (プロジェクト登録・支援の進め方、支援の内容など)	・区は協働相手が活動しやすい環境整備に取り組みえたか ・区やパートナー事業者が事業者の事業実施経費について把握し、多面的な支援ができたか	・区は、事業者の事業実施経費について把握し、多面的な支援ができたか	・事業構築支援のPDCAを効果的に行えたか
本事業を通して育成・支援・協働したプロジェクト	③プロジェクトのアウトプット 育成・支援・協働したプロジェクトは、効果的な地域課題解決の担い手になっているか	1)妥当性 プロジェクトは解決すべき地域課題を踏まえているか	対話や講座から、地域課題解決につながるアイデアや担い手は生まれているか	プロジェクトは対象とする地域課題、ニーズを踏まえているか	区と担い手は、地域課題を共有し、連携の効果を共有しているか		
		2)有効性 課題解決モデルが適切であり、結果を出しているか	対話や講座を通して生まれたアイデアは、地域課題の解決モデルとして有効なものか	プロジェクトの内容は、地域課題の有効な解決モデルを提示できたか アウトプットを出しているか	区と担い手との連携は、個別で取り組むよりも、効果的に地域課題の解決に役立つものか		
		3)効率性 成果を出すために、費用・地域資源を適切に活用できているか	新しいアイデアは、課題解決の費用、地域資源を効果的に活用する視点を持っているか	プロジェクトが継続できるように費用・収入・地域資源の運用・配分を適切に行っているか	区と担い手の連携は、課題解決の取り組みの生産性を、どれくらい高めることができているか		
		4)自立発展性 プロジェクトが多くの区民が利用可能になり、かつ、活動が持続しているか	対話や講座を通して生まれた地域課題解決のアイデアは、その後、事業化など継続した取り組みにつながっているか	プロジェクトが事業を継続できているか	区と担い手の連携の取り組みは、地域での持続的な課題解決につながっているか		
	④プロジェクトの生み出したアウトカム プロジェクトが生み出した波及効果は	5)社会的インパクト	対話や講座から生まれたアイデアは、その後、地域課題の解決につながっているか	地域（利用者・参加者の生活が変わった、区・他の担い手・区民等の新しい動きを促す等）、社会全体（メディア掲載、他地域への波及等）への影響を生み出したか	区と担い手との連携の取り組みが社会的影響（メディア露出、関連政策の変化、他地域からの注目など）を与えたか		
本事業全体の地域へのアウトカム	⑤社会的学習 地域課題の解決を効果的に行えるように、区・担い手・区民の間の学び合い、育み合いができたか。それが定着しているか		対話や講座を通して区・担い手・区民は、地域課題の理解を深めるとともに、地域の担い手や地域資源を知ることができ、プロジェクトの中間的な成果を共有できたか	事業構築のプロセスを通して区・担い手・区民は地域課題の理解をより深く理解したか また、地域課題解決に役立つ知識や技術、ノウハウを蓄積できたか	区と担い手の協働のあり方と効果的な進め方について、区・担い手・区民らが知見を蓄積できているか	事業構築が成功した事例、失敗した事例を区やパートナー事業者が分析し、知見を蓄積したか それを地域に還元したか	取り組みの改善の知見は地域で共有されているか